

MOMAT コレクション 女性のアーティスト & ジェンダー特集

昨今、美術界におけるジェンダーバランスの是正が求められ、現代の視点から女性のアーティストの再評価、見直しが進んでいます。当館の所蔵作品展では、そのような社会背景もふまえつつ、ジェンダーについて考える機会を提供してきました。今回、その歩みをさらに進める試みとして、ギャラリー4では、女性のアーティストによる抽象芸術を紹介する小企画「女性と抽象」を開催します。また、所蔵品ギャラリー2階11室では、「身体」をテーマに、ジェンダーやアイデンティティにまつわる社会的規範を問う作品を紹介します。

コレクションによる小企画 「女性と抽象」



[1] 福島秀子《凝視》1956年



[2] 芥川（間所）紗織《スフィンクス》1964年

会期：2023年9月20日（水）－12月3日（日）

会場：東京国立近代美術館 所蔵品ギャラリー2階 ギャラリー4

近年、海外で女性のアーティストによる抽象芸術をテーマにした展覧会が数多く開催され、抽象芸術の枠組みとその評価が再検討されています。本展では、当館のコレクションを通じて戦後から現代まで女性のアーティストによる抽象表現を3つの章で紹介。1章では、戦後すぐに女性たちの連帯によって結成された女流画家協会に参加した作家・作品、2章は円のモチーフを用いた作品、3章は大胆な省略や純化による抽象的表現を集めて展示します。

出品作家：青木野枝、芥川（間所）紗織、桂ゆき（ユキ子）、木下佳通代^{かずよ}、草間彌生、桜井浜江、沢居曜子、杉浦邦恵、辰野登恵子、田中敦子、田中田鶴子^{たづこ}、春木麻衣子、藤川栄子、福島秀子、三岸節子、吉川静子

ポイント

- 戦後すぐから現代まで、女性のアーティストの抽象表現の軌跡を一望できるコンパクトな展示です。
- 作品解説、作家略歴について、ジェンダースタディーズの観点から既存の表現を見直しました。

【プレスリリースお問い合わせ先】

東京国立近代美術館 美術課 | 広報担当 小川・堀田

TEL：03-3214-2565（直通） FAX：03-3214-2576

Email：pr-f@momat.go.jp



所蔵作品展「MOMAT コレクション」11室 想像／創造する「からだ」



[3] 遠藤麻衣 × 百瀬文 《Love Condition》2020年

会期：2023年9月20日（水）－12月3日（日）

会場：東京国立近代美術館 所蔵品ギャラリー 2階11室

コレクションによる小企画「女性と抽象」と関連し、2階11室では、2022年度に新収蔵した80年代生まれの2人のアーティスト遠藤麻衣 × 百瀬文による共作《Love Condition》を中心に、「身体」をテーマにした表現を紹介いたします。アーティストたちは、当たり前前に存在する私たちの身体を相対化し、ジェンダーやアイデンティティ、セクシュアリティにまつわる根源的な問いを投げかけます。

出品作家：石内都、遠藤麻衣 × 百瀬文、ソフィー・カル、カール・ブロスフェルト、ミリアム・カーン、河原温、三木富雄

ポイント

- 遠藤麻衣 × 百瀬文による映像作品《Love Condition》（1時間15分）、《Love Condition II》（15分9秒）、彫刻作品《新水晶宮》（いずれも2020年）の3点を初公開。
- 河原温や三木富雄、石内都など、近現代美術を代表する作家たちの作品を「身体」をキーワードに紹介します。
- 《Love Condition》は、「彼女たちは歌う」（2020年）、「フェミニズムズ」（2022年）などフェミニズムをテーマにした展覧会に出品された話題の作品。性差を超えた理想の性器をめぐる対話が展開されます。

東京国立近代美術館のMOMATコレクションでは、13000点を超える所蔵作品から選りすぐりの約200点を、会期ごとに3フロア、12の部屋に分けて展示し、19世紀末から現代までの日本美術の歴史を、海外作品も交えながら、毎回多様な切り口で紹介しています。

【プレスリリースお問い合わせ先】

東京国立近代美術館 美術課 | 広報担当 小川・堀田

TEL：03-3214-2565（直通） FAX：03-3214-2576

Email：pr-f@momat.go.jp



開催概要

タイトル：所蔵作品展「MOMAT コレクション」(しょぞうさくひんでん もまっとこれくしょん)
(英) Collection Exhibition MOMAT Collection

会場：東京国立近代美術館所蔵品ギャラリー 4階から2階

会期：2023年9月20日(水)～12月3日(日)

休館日：月曜日(ただし10月9日は開館)、10月5日(木)、10月10日(火)

開館時間：10:00-17:00(金曜・土曜は10:00-20:00)※入館は閉館30分前まで

観覧料：一般500(400)円/大学生250(200)円

※()内は20名以上の団体料金。いずれも消費税込 ※金曜・土曜の17時以降は、割引料金(一般300円、大学生150円)
※高校生以下および18歳未満、65歳以上は無料。※障害者手帳をご提示の方とその付添者(1名)は無料。

住所：〒102-8322 千代田区北の丸公園3-1

アクセス：東京メトロ東西線「竹橋駅」(1b出口)徒歩3分

一般のお問い合わせ：050-5541-8600(ハローダイヤル)

ウェブサイト：<https://www.momat.go.jp>

主催：東京国立近代美術館

同時期開催：企画展「生誕120年 棟方志功展 メイキング・オブ・ムナカタ」

2023年10月6日(金)～12月3日(日)

<https://www.momat.go.jp/exhibitions/553>

「生誕120年 棟方志功展 メイキング・オブ・ムナカタ」のチケットで、入館当日に限り所蔵作品展「MOMAT コレクション」もご覧いただけます。

「生誕120年 棟方志功展 メイキング・オブ・ムナカタ」に関するお問い合わせ先

「生誕120年 棟方志功展」広報事務局(共同PR内)担当：三井

TEL. 03-6264-2382 E-mail. munakata2023-pr@kyodo-pr.co.jp



東京国立近代美術館は、皇居のほど近くに建つ、日本で最初の国立美術館。1952年に開館し、2022年12月1日に開館70周年を迎えました。最大の特徴は重要文化財18点(うち2点は寄託)を含む13,000点を超える国内最大級のコレクション。19世紀末から今日まで、国を代表する多数の名作を所蔵しています。都会の真ん中でありながら自然豊かなエリアに位置し、最上階の休憩室「眺めのよい部屋」からは、皇居の緑と丸の内ビル群のパノラマ・ビューをお楽しみいただけます。

【プレスリリースお問い合わせ先】

東京国立近代美術館 美術課 | 広報担当 小川・堀田

TEL: 03-3214-2565(直通) FAX: 03-3214-2576

Email: pr-f@momat.go.jp

